

第1回審議会懇談会まとめ 地域活動の現状と課題

酪農業

コロナ以降酪農への 関心高い	→地域で受け入れ る仕組みを	プライベート重視の住 み方ニーズある	→多様な住まい方
酪農を終える世代が 増加	→開拓した土地の 活用策	自己完結な酪農家 が多い	→共同による投資 も大事
→産業振興、産業関係人口増加対策			

建設業

稚内、猿払など から通う人いる	建設業の仕事 量としてはある	→人手の確保
募集しても人が来な い、技術職不足	問寒別に住む ところがない	→住むところがあれば移住可能性?
農業と建設業の兼 業はない	→人手の融通?	

研究林

かつていた地 元雇用は減少	研究者は年間3千 人くらいここに来る	→町に人を呼ぶポンプ機能
クマ研は地元農家と親しい	→大学と地域とのつながり	

JA

離農が進行し ている	新規就業は資金 ハードル高い	→新規雇用対策
---------------	-------------------	---------

町内会

凡例	現状(問題等)	現状(Good!)	想定される課題
----	---------	-----------	---------

【連町】 後継者の問題 コロナ後の活動再開	→後継者確保 →活動再開方針	【各町】 水道組合による水道維持困難(大雨時出 動、草刈掃除)	→町の簡易水道へ統合
【各町】 町内会数27→8に減少 戸数減、活動縮小	→町内会の運営内容の検討	【各町】 隣人どおしの助 け合い減少	【各町】 40歳代 でも若造 人不足で消防など 役割を断れない
		→個人負担ではなく役割分担	

おひさまクラブ

0歳から中 学生まで集 まれる場所	中学生は 行事の手伝 い、子守	お母さんの 悩み相談で きる場所
スタッフの負担ある (皆、子連れなので)	→気軽に集まれ る場	

老人クラブ

コロナで 活動半減	高齢化で 出られな い人増加	新会員 見つから ない
→どう会員を見つけるかが課題		

小中学校

地域の協力 あってこそ生 徒が成長	小学生 13名、中 学生3名	人が少ない ことのメリッ ト生かして	授業で問寒別ど うなっしてほしいか の話している
→子どもの意見反映の場が欲しい			

人

人が温かい。 ウエルカムな 感じ	何かやろうと いうときに集 まってくれる
------------------------	----------------------------

配達・移動サービス

アルバイトの方が不在、 自分の代わりがない	→何かあった時の対応が課題
--------------------------	---------------

移動販売

キッチンカー のウケがいい	役場が 協力的
→様々な活動していきたい	

障がい者・高齢者福祉

かつて問寒別に福祉機能 がすべてそろっていた	→現代版へのアレンジへ
---------------------------	-------------

新規起業

業種は多様、いろ んな仕事をこなす	若い人が集まる場 所でもある
→短期スタッフの受入場所あるか	
暮らしぶりを発信す る場所	宿にきたお客さん がそのまま移住した
→移住者への地域の反応は?	

日赤

駅と公園の花壇整 備、駅の草刈り	古布集めてござら 荘などに提供
→継続していきたい	
全員が70~80歳代	→後継者が欲しい

地域包括センター

地域の困りごとの助け、 情報発信

民生委員

見守りは家族が 行っている
